

文化・芸術

〈名画の扉〉

大川美術館企画展 生誕130年記念「曾宮一念展-空にけやきをゆるする風」から



「赤坂離宮」

明治44(1911)年、油彩、カンバス
45・5寸×60・6寸

曾宮一念 (1893~1994年)

画中の右下にNOす。

Viiとあり、本作が明治44(1911)年11月に描かれたものとわかります。長命であったこの画家の18歳時の作品です。同42(09)年に建てられた赤坂離宮の外観は、ベルサイユ宮殿を参考に建築されたとされます。曾宮は、落葉に映える風景を華麗な色彩の明暗でとらえています。この半年前には東京美術学校に入学。生涯、師として敬愛した藤島武二(1867~1943年)と出会いました。その熱烈な筆致からすでに藤島の影響がうかがえます。(小此木)